



2023年3月3日

各 位

会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ
代表者名 取締役兼代表執行役社長CEO 廣田 浩治
(コード番号 6464 東証プライム)
問合せ先 IRマネージャー 森田 郁史
(TEL 06-6224-0193)

財務制限条項抵触に係る金融機関との協議完了のお知らせ

当社は、2023年2月20日公表の2022年12月期決算短信における継続企業の前提に関する事項についての注記を行ったこと、その中で財務制限条項に抵触している借入金について、取引金融機関と期限の利益喪失の権利の放棄について協議を進めておりますことをお知らせいたしました。

今般、該当するすべての金融機関から正式に、期限の利益喪失の権利の放棄について同意いただきましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

今般、当社は、財務制限条項に抵触している借入金について、該当するすべての金融機関から正式に、期限の利益喪失の権利の放棄について、書面にて同意が得られました。

上記を受けまして、3月27日に予定している有価証券報告書提出の際には、継続企業の前提に関する重要な不確実性は解消されると当社は認識しております。

当社グループは、一層の財務体質強化をはかるため、コスト（原材料・エネルギー他）インフレの販価への転嫁徹底・収益性の悪い製品からの撤退を含めた総見直し、並びに採算性が不十分なプレシジョン・コンポーネントビジネスの米州地域やリニアビジネスに経営リソースを集中し、ものづくりを軸にビジネス全般を整理・改革し、稼ぐ力の回復を実現いたします。

また、中期経営戦略の成長戦略：セラミックビジネスの成長加速、メディカルデバイスビジネスの収益向上・販路拡大、アジア市場のプレゼンス拡大にも投資を継続し、安定的な利益の創出に取り組んでまいります。

併せて、欧州ローラービジネスの構造改革も計画どおりに完了し、大幅な競争力強化を通じビジネスの質を高めるとともに、競争力を獲得することができました。今後は、欧州及び北米を視野に入れたグローバルローラービジネスの構築を目指してまいります。

このたびは、株主・投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。

(ご参考) 財務制限条項に抵触している借入

A. シンジケートローンによる借入

2017年11月1日開示済

借入金額	140 億円 (固定金利)
契約形態	金銭消費貸借契約 ※株式会社三菱UFJ銀行をアレンジャーとするシンジケートローン
借入実行日	2017年11月30日
返済期限	2026年11月30日
返済方法	満期日に一括返済
担保	無し
参加金融機関	株式会社りそな銀行、株式会社南都銀行、株式会社中国銀行、株式会社八十二銀行

B. 株式会社三菱UFJ銀行からの借入

2017年11月1日開示済

借入金額	175,793,268 米ドル (200 億円相当、別途円建て固定金利へ変換)
契約形態	金銭消費貸借契約
借入実行日	2017年11月30日
返済期限	2026年11月30日
返済方法	満期日に一括返済
担保	無し

C. 株式会社りそな銀行からの借入 (サステナビリティ・リンク・ローン)

2021年3月31日開示済

借入金額	50 億円
契約形態	金融消費貸借契約
借入実行日	2021年3月31日
返済期限	2028年3月31日
返済方法	満期日に一括返済
担保	無し

以上